

足頭面骨節間者最急、其餘處則可也、毒入腹則煩悶不佳、或如醉、如此者二三日便死也、

〔覆載萬安方〕丁瘡

又云、丁腫、亦云、丁毒、附諸瘡疥癰疹カユガリ、瘰癧、惡核ホロシ、子馬爾子マル、如核タチ、

〔軍陽軍鑑九上品第二十三〕信州平澤大門到下等合戰之事

一武田晴信公、天文十一年、四月五月兩月、人數をやすめ、六月四日に、七千五百人數を將て、信州諏訪郡へうち出、敵地盡放火せしめ、高島諏訪左馬助に亥ほつけ、門きはまで押つめ放火し、其次日は賴茂、居館の小城へをしませ、ねこやまで焼候へ共、城を出て戦はざる子細は、諏訪殿、運の末にてやらん、賴茂、うしろ手の打越に、六月六日の夜より、疔トと云はれ物出來て、存命不定に痛まる、に付て、大將なればた、かふ事ならず、城持事様々なり、

〔倭名類聚抄瘡〕癰ヨウ、釋名云、癰ヨウ於容氣壅結而不潰也、

〔箋注倭名類聚抄瘡〕原書作癰壅也、氣壅否結裏而潰也、此不字恐衍、說文、癰腫也、按腫字下亦云、癰也、是凡腫謂之癰、是瘡墳腫倍他瘡、故特專癰名也、

〔伊呂波字類抄病瘡〕癰キヨウ、〔同病瘡〕癰エウ

〔箋注倭名類聚抄瘡〕按病源候論、疽發無定處、依其發處、名各不同、發背亦疽中之一、非諸疽一名發背也、○中原書广部、今本無久字、徐鍇本及後漢書注、玄應音義引皆有之、急就篇注亦云、癰之久者曰疽、今本蓋誤脫也、

〔下學集上體〕癰疽

〔醫心方十五說〕癰疽所由第一

劉涓子方云、九江黃父問於岐伯曰、余聞、腸胃受穀上焦出氣、以溫分宗、而養骨節、通腠理、中焦出氣、如